



KKR、アジア・インフラストラクチャー・ファンド 2 号を 64 億ドルでクローズ
インフラストラクチャー・ファンドとしては APAC 地域で最大規模
ファンド資金の半分以上は既に 10 件以上の案件に投資済、あるいはコミット済

【2024 年 2 月 1 日】世界有数の投資会社である KKR は本日、アジア太平洋地域におけるインフラストラクチャー関連投資に注力する、KKR アジア太平洋インフラストラクチャー・インベスターズ II SCSp (以下「APAC インフラストラクチャー・ファンド 2 号」または「当ファンド」)を 64 億ドルでクローズしましたので、お知らせいたします。

クローズ時点で、当ファンドはアジア太平洋地域で組成されたインフラストラクチャー・ファンドとしては最大規模となります。これは、2021 年の当時、アジアに注力したファンドとしては最大の 39 億ドルでクローズした、当該地域における KKR 初のインフラストラクチャー・ファンド、「KKR アジア太平洋インフラストラクチャー・インベスターズ SCSp」に続くものです。当ファンドを立ち上げて以来、資金の半分以上は既に 10 件以上の案件に投資済、あるいはコミットしています。2019 年に立ち上げて以来 KKR のアジア太平洋インフラストラクチャー戦略のプラットフォームは成長を遂げ、運用資産は 130 億ドルに達しています。

KKR アジア太平洋地域共同代表で APAC インフラ統括責任者のデイビット・ルポフは次のようにコメントしています。「インフラストラクチャーは、KKR のグローバルおよび地域戦略の重要な事業の柱です。ここまでの短期間でアジア太平洋地域市場をリードするプラットフォームを構築し、成長させてきたことを誇りに思うと同時に、節目となる 2 本目の地域ファンドをクローズするにあたり、投資家の皆様の継続的なご支援に感謝いたします。今回の資金調達を成功裏にクローズできたということは、当社のマルチアセット・プラットフォームと主要市場におけるプレゼンス、複数の戦略や地域を超えた強力なコラボレーションを通じて優れたリスク調整後リターンと差別化された付加価値を提供する当社に、世界の投資家が信頼を寄せていただいた証であるとみています。今回多くの投資家にコミットいただいたということは、アジア太平洋地域のインフラ・セクターには長期的に大きな成長潜在力があるという、当社と共通の認識を裏付けるものです。」

インフラストラクチャー投資においては、KKR は規律ある投資先選定プロセスに加えて、APAC 各地域の投資専任チームが案件ソーシングとストラクチャリングを行うアプローチを採っています。今回のファンドはこのアプローチに従って、ボラティリティが低く、強力なダウンサイド・プロテクションを有する重要なインフラストラクチャー・アセットに注力し、KKR のグローバルに広がる専門家のネットワークや APAC 地域で経験と実績を積んだチーム、長年にわたり価値創造を実現してきた実績をテコに、付加価値を創出し、魅力的なリスク調整後リターンを達成できると考えています。当ファンドでは、再生可能エネルギー、電力・公益事業、上下水道、デジタル・インフラストラクチャー、輸送など幅広い分野での投資が可能です。

KKR ムンバイ拠点のインフラストラクチャー・チームのパートナーであるハーディック・シャーは次のようにコメントしています。「国内消費と生産性の上昇、急速な都市化、新たなミドルクラスの台頭を背景にアジアが世界成長の 6 割以上を占める中、新たなインフラと持続可能なエネルギー源に対するニーズは今後も高まっていくでしょう。このような状況は、高い付加価値を求めるプライベート・インフラストラクチャー投資家にとっては大きなチャンスであり、アジア太平洋全域の重要なインフラストラクチャーの開発や発展につながる投資機会に期待しています。」

KKR ソウル拠点のインフラストラクチャー・チームのパートナーであるキース・キムは、次のように述べています。「厳しいマクロ環境と投資環境の中でも投資機会を創出し、資金調達を成功させることができたのは、当社のグローバルな専門力だけでなく、投資対象の市場や事業環境を深く理解している現地の精鋭チームがいるからです。KKR は当ファンドを通じ、アジアのインフラストラクチャー・セクターへの投資に一段とコミットしてまいります。」

当ファンドは、公的年金や企業年金、政府系ファンド、保険会社、エンダウメント・ファンド、資産運用会社など、世界中の(新規および既存の)世界の多様な投資家から資金を受け入れました。

KKR のクライアント・サービス・グループのマネージング・ディレクターであるブランドン・ドネンフェルドは次のようにコメントしています、「KKR は、数十年にわたるバリューストック投資家としての経験を活かし、地域に根ざしたチームを編成し、ダウンサイド・プロテクションに重点を置き、差別化したインフラストラクチャー投資アプローチを構築してきました。投資家の皆様からは継続的にご支援いただいていることに感謝しています。引き続き良好なパフォーマンスを創出できるよう邁進いたします。」

2008 年にグローバル・インフラ・チームおよび戦略を立ち上げて以来、KKR は世界で最も積極的なインフラストラクチャー投資会社の一つとなっており、現在、80 を超えるインフラストラクチャー投資案件で約 560 億米ドルの運用資産を有し、世界中に 90 名超のインフラ投資プロフェッショナルを擁しています。

当ファンド組成においては KKR のプライマリー・ファンド・カウンスルはデビボイス&プリンプトン LLP が担いました。

KKRについて

KKR はグローバル投資運用会社であり、オルタナティブ・アセット、キャピタル・マーケット、保険ソリューションを提供しています。長期的かつ規律ある投資アプローチを採用し、世界トップクラスの人材を投じてポートフォリオ企業やコミュニティの成長を支援し魅力的な投資リターンを創出することを目指しています。KKR はプライベートエクイティ、クレジット、実物資産に投資する投資ファンドのスポンサーとなっており、また、ヘッジファンドを管理する戦略的パートナーを有しています。KKR の保険子会社はグローバル・アトランティック・ファイナンシャル・グループ管理下で退職金、生命保険、再保険商品を提供しています。KKR の投資に関する記述には KKR がスポンサーとなっているファンド及び保険子会社による活動が含まれる場合があります。KKR & Co. Inc (NY 証取:KKR) については、KKR のウェブサイト www.kkr.com をご参照ください。グローバル・アトランティック・ファイナンシャル・グループの詳細情報は www.globalatlantic.com をご参照ください。

お問合せ

FGSグローバル KKR-TYO@fgsglobal.com

(担当: 服部 070-7484-7703 浅野 070-7425-8483)